

函 港 港
令和 8 (2026) 年 3 月 1 9 日

経済建設常任委員会委員 様

港 湾 空 港 部 長

函館港港湾脱炭素化推進計画（素案）に対するパブリックコメント（意見公募）手続の実施結果の公表について

このことについて、函館港港湾脱炭素化推進計画（素案）に対するパブリックコメント（意見公募）手続の実施により提出された意見の概要とその意見に対する市の考え方について、下記のとおり公表いたしますので、ご報告いたします。

記

函館港港湾脱炭素化推進計画（素案）

1 意見提出者（団体）数／意見の数

個人 1 人／6 件

団体 0 団体／0 件

2 修正の有無

意見による修正はありません。

3 公表の時期

令和 8 年 3 月 1 9 日（木）

4 公表する資料

函館港港湾脱炭素化推進計画（素案）に対するパブリックコメント（意見公募）手続の実施結果について

（港湾空港部港湾課）

「函館港港湾脱炭素化推進計画（素案）」に対する
パブリックコメント（意見公募） 手続の実施結果について

案 件 名	函館港港湾脱炭素化推進計画（素案）
募 集 期 間	令和8年2月3日（火）～ 令和8年3月5日（木）
担 当 課	港湾空港部港湾課
意見提出者数	1名

「函館港港湾脱炭素化推進計画（素案）」に対する意見の概要と市の考え方
※意見の概要については、原文を要約および分割しております。

No.	意見の概要	市の考え方
1	水素ステーションを若松ふ頭と緑の島に設置してほしい。	いただいたご意見につきましては、今後、計画に基づく取組を進めるにあたり、参考とさせていただきます。
2	公共交通の充実と利便性を向上してほしい。函館市地域公共交通協議会に港湾空港部は参画しているのか。	函館市地域公共交通協議会には、港湾管理者の立場で、港湾空港部次長が委員として参画しており、引き続き協議会の方針等を踏まえ、各関係構成員と連携し、公共交通の充実と利便性の向上に取り組んでまいります。
3	港町ふ頭のフェリー乗り場への交通アクセスの向上を図ってほしい。	
4	市の公用車は何台あるのか。市の公用車も脱炭素車両にしてもらいたい。	
5	ごみ収集車やし尿処理車、ごみパトロール車は全部で何台あるのか。この車両についても新車を導入してもらいたい。	令和7年4月1日時点でリースを含む市の公用車は427台あり、電気自動車のほか、ハイブリッド車など環境に配慮した車両の導入も行われているところです。
6	現在の函館バスの車両は古くなっているので、ハイブリッド式の低燃費車両を導入してもらいたい。また、車両への函館ロゴマークの表示や車内にデジタルサイネージを導入してもらいたい。新年度から行ってほしい。	2050年カーボンニュートラルに向けては、公用車も含めた車両の脱炭素化も重要であると考えておりますことから、ご意見については、庁内関係部局や交通事業者にもお伝えいたします。

意見等を考慮した結果の修正案	意見による修正はありません。
結果の配布場所	港湾空港部港湾課（市役所本庁舎4階）
お問い合わせ先	港湾空港部港湾課 TEL 0138-21-3490 FAX 0138-26-2656 E-mail : kowan-keikaku@city.hakodate.hokkaido.jp